患者さまへ

「大腿骨近位部骨折術後の日常生活動作の変化と

術後排尿困難との関係について」

この研究は、常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2022年4月より2023年3月までに湘南鎌倉総合病院に入院し、大腿骨近位部骨折に対して手術の治療を受けた女性患者さまを対象。
2 研究目的・方法	大腿骨近位部骨折は年々増加傾向にあり、術後の尿道カテーテル抜去後に尿失禁や尿閉等の下部尿路機能障害を生じる患者さまが一定数おられます。 下部尿路機能障害の患者さまに対して適切な排尿ケアを行うために、手術後に排尿困難が生じた患者さまと排尿困難が生じなかった患者さまに分け、背景や病歴情報、血液データ、日常生活動作(Activities of daily living: ADL)、認知機能の視点から関係性について検討します。 研究の期間:施設院長許可(2024年1月予定)後~2024年8月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既に研究結果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	患者背景(年齢、身長、体重、BMI)、病歴情報(診断名、既往歴、入院日、手術日、退院日、尿道カテーテルの有無、尿道カテーテル留置日、尿道カテーテル抜去日、尿道カテーテル留置期間、排尿ケアチームの介入期間、ADL、下部尿路機能評価等)、血液データ等 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 落合 佑太 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717